

2009年度
環境レポート

対象期間 2009年1月～2009年12月

発行日：2010年1月22日

環境方針

- 1 . 事業活動の全ての領域で、省エネルギーの推進、排出物の減量化、資源の有効利用などを行い、環境保全に貢献します
- 2 . 保全の理解を深めるため、社内外の関係者を巻き込んで環境管理活動を推進します
- 3 . 省エネルギーなど、環境負荷を考慮した技術開発に努めます
- 4 . 国や地域において定められた法律や規則を遵守すると共に、一層の継続的改善と維持管理に努めます

2008年7月1日

株式会社 フォーミット

代表取締役

中村 治夫

1 . 事業活動の概略

- ・ 事業所名

株式会社 フォーミット

- ・ 所在地

大阪府豊中市原田元町 2 - 2 1 - 4

- ・ 環境保全関係の責任者及び担当者

責任者 代表取締役 中村 治夫

担当者 生産チーム 谷 昌憲

- ・ 連絡先

TEL (06) 6845-4310

FAX (06) 6842-3510

E-MAIL fourmit@fourmit.co.jp

- ・ 事業内容

自動制御機器の設計・製作・販売

- ・ 事業規模

社員数 8 人

事務所延床面積 228 m²

工場延床面積 340 m²

総延床面積 568 m²

2. 環境目標とその実績

年度目標

二酸化炭素排出量の低減

- ・ 電気使用量を昨年度以下にします
(事務所：208,327MJ/年)
(工場：236,195MJ/年)^{*1}
- ・ ガソリン使用量を1,831L/年以下にします

*1：計測月(2007年度10~12月)の実績から使用量の算出を行ないましたが間違いがあり、
計画から修正しています

廃棄物の低減

- ・ 売上高あたりの排出量を昨年度以下にします
(事務所：8.4kg/百万円)
(工場：4.2kg/百万円)

リサイクルの推進

- ・ リサイクル率72%以上を継続します

グリーン購入の推進

- ・ グリーン購入比率75%以上を継続します

水資源の節約

- ・ 工場には水道メーターが無く、排水量(使用量)が確認できないので
6月までに水道メーターの取り付けをもらえるよう、依頼をかけます
- ・ 水道メーターが付いた際は、その後の計測を行い年度算出データとして用い
その値をもって排水量を84m³以下にします
- ・ 事務所は昨年度の排水量84m³以下にします

環境負荷を考慮した技術開発推進

- ・ 全ての物件でお客様にエコ製品やR o H S 適合品の使用承諾確認を
行います
- ・ 売上高当たりの設計不良による損失金額を2005年度比で
30%低減する事により、環境負荷への低減を図ります

環境実績

項目	年度	2007年	2008年	2009年		2010年
		(実績)	(実績)	(目標)	(実績)	(目標)
電力使用量	事務所	208	208	208以下	158	70以下
	工場	236	232	232以下	62	
ガソリン使用量	L/年	1,831	684	684以下	395	395以下
二酸化炭素排出量	Kg-CO ₂ /年	21,345	18,536	18,536以下	9,384	5,000以下
排水量	事務所	84	91.4	91.4以下	82.2	
	工場	-	72.1	72.1以下	30.1	
廃棄物量	事務所	1,295	616		466	
	工場	649	1823		66	
売上高当たりの廃棄物量	事務所	8.46	2.99	2.99以下	6.53	2.99以下
	工場	4.24	8.86	8.86以下	0.92	
リサイクル率	%	80.9	63.7	72.0以上	75.9	75.0以上
グリーン購入率	%	54.9	82.9	75.0以上	98.8	75.0以上
売上高当たりの設計不良損失金率	%	(2005年度比) 197.1	(2005年度比) 58.8	(2005年度比) 80.0以下	(2005年度比) 9.8	(2009年度比) 80.0以下

3. 主な活動内容とその評価

取組計画		達成状況		単位	評価(結果と今後の方向)
二酸化炭素排出量		目標 実績	18,536 9,384	Kg-CO ₂ /年	目標達成
電気	<ul style="list-style-type: none"> 事務所照明を高効率な蛍光灯に交換 電化製品未使用時の電源 off 場所や時間の工夫で空調利用最小限 使用電力量の案内で節電意識向上 	【事務所】 目標 実績	208,248 158,184	MJ/年	電化製品未使用時の電源 off 活動もよく浸透しておりさらに対象品目を追加する
		【工場】 目標 実績	232,460 61,968		
ガソリン	<ul style="list-style-type: none"> 遠方の出張は公共の移動を呼びかけ 経済速度での走行 事前経路確認で無駄な走行を無くす タイヤ空気圧点検で燃費低下を防ぐ 年2回ガソリン使用量確認 	目標 実績	684 395	L/年	<ul style="list-style-type: none"> 前年度に比べ、車での出張先や出張回数が増えたことが主な要因だが、出張時には誰もが公共の移動手段を検討するようになり、また運転も急加速の抑制や経済速度で走行などエコドライブが定着している 空気圧や使用量確認も滞りなく行えた
		目標 実績	11.85 7.45	Kg /百万円	目標達成
売上高当たりの廃棄物量	<ul style="list-style-type: none"> 関係先に簡易梱包やカタログ回収を依頼 リユースやリサイクルの利用頻度を上げる 産業廃棄物の適正廃棄 	【事務所】 目標 実績	2.99 6.53	Kg/年	事務所は8S活動で整理したカタログ、書類等の廃棄物が増大したが、今後は出来る限りWeb上でのカタログ閲覧対応とする
		【工場】 目標 実績	8.86 0.92		
リサイクル率		目標 実績	72.0 75.9	%	目標達成
<ul style="list-style-type: none"> 出荷時梱包材の再利用や簡易包装を行う 仕入れ先にも通い箱などリユースを依頼するなど社内外に活動を呼びかける 					これらの取り組みは作業に定着した感がある
グリーン購入率		目標 実績	75.0 98.8	%	目標達成
最新のカatalogを参考に環境負荷低減商品を確認購入する					作業手順に盛り込まれ取行されている

排水量		目標 実績	163.5 112.3	m ³	目標達成
<ul style="list-style-type: none"> ・ 節水運動を引き続き呼びかる ・ 賃貸先に工場の水道メーターを設置依頼する 		【事務所】 目標 実績	91.4 82.2	m ³	水道メーターが事務所、工場とも設置されたので正しく使用量が計測できた
		【工場】 目標 実績	72.1 30.1		
売上高当たりの設計不良損失金率		目標 実績	80.0 9.8	% (2005年度比)	目標達成
機械設計	部品の干渉を解消するために作図方法の変更と確認の見直しを行う				設計作業手順の見直しやマニュアル化並びに勉強会を実施、継続中
電気設計	確認不足（特にボカミス）が多いので確認の徹底と不具合情報を共有できるような方法を考える				作図基準書や作業要領書を作成して作業の標準化を実施できた

全体評価	
環境活動が定着し、取引先の QC 活動のテーマとしても社員全員で取り組みました。今後は環境活動を活用し経費低減が出来る活動を増やしていきより一層の環境保全に勤めたいと思います。	

4 . 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

関連法規	適用事項
廃棄物処理法	産業廃棄物（金属屑、廃プラ、廃油）
騒音規制法	コンプレッサー
ボイラー及び圧力容器安全規則	エアータンク
自動車リサイクル法	社有車
家電リサイクル法	エアコン、洗濯機、冷蔵庫

環境関連法規への違反はありませんでした。また、過去3年間にわたって苦情など含め関係機関等からの指摘事項はありませんでした。